

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 まちづくり・交通課		担当課長名	小林 勝明	
(※)第2期実施計画の事業名	市営住宅管理事業		財務会計上の事業名	市営住宅管理事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1051	1	財務会計上の短縮番号	5335	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第5節住宅の充実			
	項目	項目1公的住宅の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	市営住宅長寿命化計画に基づき、市営住宅を計画的に維持管理する		
事業の対象(誰を、何を)	市営住宅		
事業の手段・方法(どのように)	既存市営住宅の維持・管理を実施		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)		
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度		
※根拠法とその条項	公営住宅法		

2 事業費等

区分		26年度(決算)		27年度(決算)		28年度(決算)		29年度(予算)		H28/H27
事業費(千円)		145,789		141,026		141,700		148,698		100.5%
主な内訳	建物借上料	94,064		94,064		94,064		94,064		100.0%
	補助金	47,114		42,370		42,935		48,832		101.3%
	負担金	4,302		4,302		4,122		4,122		95.8%
人件費(人・千円)		0.48	3,092	0.33	1,288	0.32	1,228	0.43	2,088	97.0%
内訳	正職員	0.37	2,886	0.12	912	0.12	888	0.23	1,748	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.01	36	0.01	36		0		0	0.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.10	170	0.20	340	0.20	340	0.20	340	100.0%
支出合計 A		148,881		142,314		142,928		150,786		100.4%
財源	国・府支出金	16,173		16,339		16,415		18,026		100.5%
	地方債									-
	その他(住宅使用料他)	88,207		92,136		90,746		91,366		98.5%
	うち受益者負担 B	88,139		92,078		90,689		91,310		98.5%
	一般財源 C	44,501		33,839		35,767		41,394		105.7%
一般財源比率 C÷A		29.9%		23.8%		25.0%		27.5%		105.2%
受益者負担率 B÷A		59.2%		64.7%		63.5%		60.6%		98.1%
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	入居者募集、住宅使用料の徴収や空家の修繕等		
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 不可能	
可能の場合:導入可能な業務			
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容			
不可能の場合:選択の理由			

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	維持・修繕の実施	団地	7	7	7	7	7
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				住宅の維持管理を通じて良好な住環境の確保につとめている。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	全7団地の適正な維持・管理を実施している。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	計画的な維持管理を行うため、現在の事業を継続する。	
現在抱える課題と対策	課題	市営住宅使用料の滞納者への対応
	対策	明渡し請求等の法手続きなどの実施を検討
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	滞納者から、使用料の徴収を行い、滞納者数を削減	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 まちづくり・交通課		担当課長名	小林 勝明	
(※)第2期実施計画の事業名	市営住宅長寿命化事業		財務会計上の事業名	市営住宅長寿命化事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1051	2	財務会計上の短縮番号	5345	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第5節住宅の充実			
	項目	項目1公的住宅の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市営住宅の長寿命化を図る		
事業の対象 (誰を、何を)	市営住宅		
事業の手段・方法 (どのように)	維持管理、更新、市営住宅長寿命化計画の策定		
実施期間	<input type="checkbox"/> 新規(平成 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 時限(平成 24 年度～平成 34 年度)		
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度		
※根拠法とその条項	公営住宅等長寿命化計画策定指針		

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		0		101,707		0		0		0.0%
主な内訳	委託料	0		98,579		0		0		0.0%
	工事請負費	0		0		0		0		-
人件費(人・千円)		0.18	1,057	0.18	1,057	0.23	1,453	0.26	1,639	127.8%
内訳	正職員	0.12	936	0.12	936	0.18	1,368	0.21	1,554	150.0%
	再任用短時間勤務職員	0.01	36	0.01	36	0	0	0	0	0.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.05	85	0.05	85	0.05	85	0.05	85	100.0%
支出合計 A		1,057		102,764		1,453		1,639		1.4%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,057		102,764		1,453		1,639		1.4%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)			<input type="checkbox"/> 2 実施予定			<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し		
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	耐震工事設計及び改善事業における計画・設計等		
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能	<input checked="" type="checkbox"/> 不可能	
可能の場合:導入可能な業務			
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容			
不可能の場合:選択の理由			

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値 (H30)	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)		
指 標 値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	古江住宅耐震改修工事	団地	-	1	-	-	-
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果			-	-	-	-	-
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				長寿命化計画の事業は順次着手している					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				耐震診断を実施し、改修や建替えが必要と判断された住宅に対して工事を行うことで耐震性を確保し、長寿命化を図っている。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施	平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容			
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持	<input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	市営住宅長寿命化計画に基づき事業を実施する。		
現在抱える課題とその対策	課 題	特になし	
	対 策		
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針			
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持	<input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	耐震性不足の住宅については建替や改修工事を行い、住宅の安全性を確保する必要がある。		

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 まちづくり・交通課		担当課長名	小林 勝明
(※)第2期実施計画の事業名	市営住宅長寿命化事業		財務会計上の事業名	石橋住宅建設事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1051	2	財務会計上の短縮番号	5346
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち		
	節	第5節住宅の充実		
	項目	項目1公的住宅の充実		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	都市計画公園整備、余剰地活用及び老朽化した石橋市営住宅の建替えを行い、入居者の居住を確保。
事業の対象 (誰を、何を)	市営住宅入居者
事業の手段・方法 (どのように)	公募型プロポーザルにより事業者を選定し、事業を実施
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 新規(平成 28 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		0		0		8,424		79,082		-
主な 内訳	委託料	0		0		8,424		72,278		-
	工事請負費							6,804		-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.00	0	0.23	1,453	0.26	1,639	-
内 訳	正職員	0		0		0.18		1,368		-
	再任用短時間勤務職員	0		0		0		0		-
	任期付職員(フルタイム)	0		0		0		0		-
	任期付職員(短時間勤務)	0		0		0		0		-
	非常勤職員	0		0		0		0		-
臨時的任用職員		0		0		0.05		85		-
支出合計 A		0		0		9,877		80,721		-
財 源	国・府支出金					6,500		31,122		-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C		0		0		3,377		49,599		-
一般財源比率 C÷A						34.2%		61.4%		-
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	事業者選定のためのスケジュール、募集要項の作成を委託。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	事業者選定委員会開催	回	-	-	3	-	-
	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	事業者選定	社	-	-	1	-	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				当初の計画通りに事業者が決定されたため。				
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			事務処理が軽減され事業者が決定できたため。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	住民移転、既存解体に取り組む。	
現在抱える課題と対策	課 題	地域住民との調整
	対 策	説明会を開催し理解を得る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	計画通りに住民移転、既存解体を遂行する。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 審査指導課		担当課長名	浜洲 一弘
(※)第2期実施計画の事業名	既存民間建築物アスベスト対策補助事業		財務会計上の事業名	既存民間建築物アスベスト対策補助事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1052	2	財務会計上の短縮番号	4663
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち		
	節	第5節住宅の充実		
	項目	項目2民間住宅の充実		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	建築物のアスベスト健康被害に対する不安の解消を図る
事業の対象 (誰を、何を)	建築物の所有者
事業の手段・方法 (どのように)	建築物の所有者が行うアスベスト対策に対して補助金を交付
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 18 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	建築基準法第28条の2、池田市既存民間建築物アスベスト対策事業補助金交付要綱

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		0		55		0		1,250		0.0%
主な 内 訳	既存民間建築物アスベスト対策補助事業	0		55		0		1,250		0.0%
										-
人件費(人・千円)		0.17	1,326	0.22	1,672	0.22	1,628	0.14	1,036	100.0%
内 訳	正職員	0.17	1,326	0.22	1,672	0.22	1,628	0.14	1,036	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支 出 合 計 A		1,326		1,727		1,628		2,286		94.3%
財 源	国・府支出金			55		0		750		0.0%
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,326		1,672		1,628		1,536		97.4%
一般財源比率 C÷A		100.0%		96.8%		100.0%		67.2%		103.3%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	国からの補助事業であるため

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	アスベスト対策啓発活動	回	1	1	1	1	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	アスベスト含有調査補助金交付件数	件	0	1	0	1	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	アスベスト対策工事補助金交付件数	件	0	0	0	1	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		本市において、アスベストによる健康被害の発生がない。						
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (目標値や事業費の推移についても言及して記入)		対象建築物を所有する申請者からの申請を受けて行う事業であり、調査や対策工事を行うかどうかは申請者の都合による受動的な事業であるため、過去3年での補助件数は27年度の1件のみである。啓発活動も行っており、有効かつ効率的であると思われる。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	補助金額、対象物件等の内容変更なし	
現在抱える課題とその対策	課 題	国の補助制度は、含有調査が平成29年度末で、除去工事は32年度末でそれぞれ廃止される予定である。(延長可能性あり)
	対 策	国の補助制度が廃止された場合、事業の必要性について検討が必要である。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	アスベストを使用した建築物はまだまだ現存しており、又、国から新たに、石綿含有仕上げ材の除去等作業における石綿飛散防止対策が通知されている中で、今後の国の補助制度についての動向を探りながら、取組方針を検討する。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 まちづくり・交通課	担当課長名	小林 勝明
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	空き家対策推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	4671
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち	
	節	第5節住宅の充実	
	項目	項目3良好で安全・安心な住宅の供給	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	周囲に悪影響を与えている空き家の減少、増加の防止
事業の対象 (誰を、何を)	空き家所有者、市民
事業の手段・方法 (どのように)	空き家の適切な管理と利活用を促進するため、現地調査、指導業務、啓発活動等を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 28 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	空家等対策の推進に関する特別措置法

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)						135		92		-
主な 内訳	印製本費					50		70		-
	郵便料					85		0		-
	会場借上料					0		22		-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.00	0	0.66	2,490	0.65	2,082	-
内 訳	正職員	0		0		0.24		1,776		-
	再任用短時間勤務職員	0		0		0		0.10		380
	任期付職員(フルタイム)	0		0		0		0		-
	任期付職員(短時間勤務)	0		0		0		0		-
	非常勤職員	0		0		0		0		-
臨時的任用職員		0		0		0.42		714		-
支 出 合 計 A		0		0		2,625		2,174		-
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C		0		0		2,625		2,174		-
一般財源比率 C÷A						100.0%		100.0%		-
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	セミナー講師、相談員派遣
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	効率的、効果的な啓発活動のためには専門的な知識が必要。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施 計画 目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	セミナー、相談会の開催	回	-	-	1	2	2
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		専門団体の協力を得ながらセミナーの開催が初年度より出来た。						
有 効 性 ・ 効 率 性 評 価	目的達成のための有効な 内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である (改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない (抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に 実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移に ついて)も言及して記入)	より効果的な啓発活動を行っていくためには一部業務のアウトソーシングも必要。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における 事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組 (平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	昨年度同様、専門団体の協力を得ながらセミナーを開催していく。	
現在抱える課題 と その対策	課 題	セミナー開催等の広報活動
	対 策	地域に協力を求めるほか、一部アウトソーシングの検討。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	市広報誌やホームページへの掲載だけでは効果が少なく、より効果的なPR方法を検討するとともに、セミナー講師、相談員についてもボランティアの範囲で協力してもらっているところであり、アウトソーシングの導入も必要。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 まちづくり・交通課	担当課長名	小林 勝明
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	空き家再生等推進補助事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	4672
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち	
	節	第5節住宅の充実	
	項目	項目3良好で安全・安心な住宅の供給	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	空き家等を有効に活用し、地域の活性化に繋げる。
事業の対象 (誰を、何を)	空き家の所有者等
事業の手段・方法 (どのように)	空き家の跡地を地域活性化等に活用する所有者に対して補助金を交付する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 28 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市空家等跡地活用事業補助金交付要綱

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)						0		2,000		-
主な 内訳	補助金					0		2,000		-
										-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.00	0	0.05	370	0.10	760	-
内 訳	正職員		0		0	0.05	370	0.10	760	-
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支 出 合 計 A		0		0		370		2,760		-
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	0	0	0	0	370	370	2,760	2,760	-
一般財源比率 C÷A						100.0%		100.0%		-
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	本事業は市の補助金交付に関するものであり、市職員が行うべき業務であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	補助件数(累積)	件			0	2	2
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				平成28年12月より開始した事業のため。				
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		現在は空き家の跡地活用のみが対象となっているため、空き家活用についても補助対象としていく。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)		<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容		昨年度より開始した事業であり、事業を継続。
現在抱える課題と対策	課 題	空き家所有者と利用者とのマッチングを支援する仕組みが必要。
	対 策	空家バンク制度の創設等
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針		<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由		空き家等の利活用を促すため、補助対象については跡地活用だけでなく、空き家そのものの活用も対象としていく。また、空家バンク制度の創設等、所有者と利用者のマッチングを支援する仕組みが必要。